欅　台　中　学　校　だ　よ　り　NO１１

「家庭･地域とつながり、笑顔･感動･夢にあふれる欅台中学校」

平成２９年　７月２０日（木）　　発行者　山本　高志

夏休みを前に　～子供たちの健全育成に向けて～

４日（火）には学校と警察の連絡協議会の主催で、リリックおがわを会場に「平成２９年度青少年健全育成地域の集い」という集まりがありました。そこで『少年の健全育成と非行防止』という演題で埼玉県警察少年サポートセンター臨床心理士　芹田　卓身（せりた　たくみ）先生がとてもいいお話をしてくださいましたので、紙面を借りていくつか紹介します。何か参考になることがあれば生かしてください。

講演する芹田さん

１　３０年以上の警察のカウンセリングの経験から

１）最近の子供は。一見その態度や身なりは以前よりよくなっているが…、やっていることは、かなりたちが悪くなってきている。

２）女子より男子の方が変わってきている。男子の中には一人で爆発する子が多く、日頃から人とのやり取りがなく「いつの間に」「何でだろう？」という感じ。また、困り感が乏しく「悩む・困る・苦しい」という言動はあまり感じとれない。

３）女子の変化として、やることが男性化し、怒りや恨みの晴らし方が男子に近づいている。以前はモノを投げる程度だったものが、人体に影響を与えるほどの事もやり、止める人がいないと、行くところまで行ってしまう。

２　少年の理解における視点

１）思春期の特徴

「春は命の息吹きであり、おどろおどろしく、不気味。何がどうなっているかわからない不気味さや薄気味悪さがある」もの

特徴①子供にとって自身の身体が急に変わる不安や恐ろしさ→本音で語りにくい。

特徴②気分が急に代わりやすい。フレンドリーに接していたかと思いきや、急に目つきが険しく不機嫌になる←子供は自分が何を求めているかわからない。

特徴③悪いことに流されやすい（悪いことは面白く、魅力がある）。悪いことを考える事とすることは別であり、考える（想像すること）は構わない。大人は悪いことをする事に対してはきちんと歯止め（規制）をかけねばならない。

２）自尊心　　プライドとは別。プライドは人に対する態度で、プライドの高い子は自尊心が低い。自尊心とは「安心して生活ができているか」が根底にあり、食事と睡眠がきちんととれているかは重要。とれていない子は居場所がなく『俺はダメだ』とか『どうせ私なんか…』と思いやすい。

３　子供に対応する際の留意点

１）心構え

子供と話をする時は（短時間でいいから）覚悟を決めて子供の話を聞いてほしい。子供に「頑張らせる」ことも大切だが、（できれば父親が）子供に「あきらめること」も状況に応じて教えてほしい。また、（これもできれば父親が）子供に事前予告できるような関係性が作れるとよい。例えば『お前が〇〇をしたら俺は怒るからな』とか『俺が嫌だから、お前に〇〇はさせたくないんだ』のように。

写真は２年生理科
真夏のカルメ焼き

２）対応上の工夫

①子供なりの努力や工夫を認める

例えば、「あるよくないことを絶対にしない」と約束したのに、またやっていた。本人は３日間はやめていたといっている。その場合「何で３日間しかもたないのか？」と叱責するのではなく「どうして３日間も約束を守れたの？」と約束を守れたことを認め、褒めてあげるとよい。

②子供と約束する時の工夫

「●●（よくないこと）をしない」と約束した場合、できないと罰を与えることになる。「○○（よいこと）をする」と約束すれば、カレンダーに○をつけたりして認めたり、行動を褒めてあげられる。また、よくないことをやってしまった時、例えば「やるんじゃなかった」「あいつと一緒だったから」「あの場所にいかなければ」などの恨み言や言い訳もどんどん出させてしまうとよい。

③「それはダメ」の言い換え

子供がやってしまったよくないことに対して、「それはダメ」という言葉以外に、「通用しないよ」「まだ早いよ」「まだ格好つかないね」「似合わないね」等の言い換えができると、子供の心に届きやすい。

「いらない紙で誰かを救う」　～図書委員会発表～

１３日（木）の生徒朝会では図書委員会の発表が行われました。図書室の本は基本的に税金で購入していますが、図書委員会としてはもっと本がほしいということで、紙資源を集め、業者に買い取ってもらっています。そしてその１割を使って、海外の子供たちの支援にあてているということでした。集めた紙資源は昨年度は３８，６４２円、その１割である３，８６４円を寄付することができました。

紙切れは捨てないでね

図書委員の皆さん

本が読める幸せを世界の子供たちに味わってもらいたいという願いを込めて、図書委員の活動は今日も行われています。ご協力をお願いします。

平成３０年度入試に向けて　～３年進路説明会～

１３日（木）には３年生と保護者の皆さんにお集まりいただき、３０年度入試に向けての説明会を実施しました。現段階では昨年度と比べて大きな変更点はありません。大学入試を考えている人にとっては、この学年の生徒が高校３年になった時の受験は、今までと大きく変わりますので、そんな点も意識して高校側の説明を聴いてきてほしいと思います。

３年生にとっては、今までの夏休みと大きく違うものになるでしょう。家でもONとOFFの切り替えをしっかりして、乗り越えていってほしいと思います。

親子で並んで説明を聞きました

夏の暑さにも負けず…　～資源回収～

１５日（土）には資源回収が行われました。学校ではおもに３年生が、集まってきた資源を車から出してコンテナに運ぶ作業を手伝ってくれました。朝から気温が上がり、汗がしたたり落ちて大変でしたが、子供たちは元気に声をかけ合って意欲的に動いてくれました。「はい段ボール来たよ！」「私が運び（持ち）ます」「ありがとうございます」など、まるで繁盛しているお店のよう。コミュニケーション能力の高さを感じました。

活気で暑さを吹き飛ばす

お知らせ

４月に実施した「埼玉県学力学習状況調査」の個人票が届きました。昨年度と比較した個人個人の学力の伸びがわかる資料です。本校では、夏休みの保護者面談の際に返却致しますので、ご了承ください。